

(第三種郵便物認可)

プロ中のプロを認定

家電製品協会認定 森 拓生 センター長に聞く

家電製品協会が実施する「家電製品エンジニア」「家電製品アドバイザー」「家電製品アドバイザー」はますます多様化し、両資格制度の役割がますます重要になっている。制度発足から12年、資格取得者は14万人に達しているが、新たな取り組みを始めた。その第一弾が9月実施の全国統一試験から導入する「エグゼクティブ等級」。

森センター長 長引く国内家電不況の中で消費者は「シロ物・クロ物の単体製品」から「基礎知識を主体にしてきた」が、大きな転換期を迎えている。掃除機を語るには「紙パッククリーナーの構造」を想定した新しい知識の習得が必要。

森センター長 家電製品アドバイザー・同エンジニア資格も二つの変革を目指している。

エグゼクティブ等級導入

資格制度
家電製品
裾野拡大
新知識を習得

「エグゼクティブ等級」。

森センター長に話を聞いた。



森 センター長

技術進展で製品進化には目を見張るものがある。次なるネオ家電時代のための黎明(れいめい)期の状態といえる。

ネット知識不可欠
家電製品アドバイザーとエンジニアの資格制度が導

「エグゼクティブ等級」は、掃除機を語るには「紙パッククリーナーの構造」を想定した新しい知識の習得が必要。

一つ目は「ネオ家電時代」の「エグゼクティブ等級」。

一つ目は「全体のレベルアップを図る」こと。資格取得者の裾野拡大を目指す。

通常の資格に比べ相当に難易度が高い「エグゼクティブ等級」の認定証

認定証
家電製品アドバイザー

Gold grade

氏名 花子 氏
所属 家電製品協会
TEL 03-6741-9609

交付 平成25年11月01日
有効期限 平成30年10月31日

認定証
家電製品総合エンジニア

Platinum grade

氏名 太郎 氏
所属 家電製品協会
TEL 03-6741-9609

交付 平成25年11月01日
有効期限 平成30年10月31日

従来のスタンダードから、質の充実、シフトし消費者に高水準なアドバイスや、サービスを提供できるようにする。

受験者数1・3倍

そのための施策が、高得点合格の人材に特別称号の「エグゼクティブ等級」を付与する。今年3月の試験は、受験者数が昨年9月に比較し1・3倍に増加した。家電業界全体が変革期にあることを肌で感じ、人材のスキル向上の必要性に気付いている証とみている。人材育成の機運を、自ら執筆する参考書や、資格試験を通じて支援していきたい。